

## 越山若水

2021.4.10

「四字熟語」といえば「四面楚歌」「言語道断」など日本でもおなじみ。中国にも4文字でできた成語は無数にある。簡潔で、慣用的な表現だから、会話や文章にも

よく登場する▼どんな決まり文句があるのだろうか。「ちよっとヘンだぞ四字熟語」(高島俊男著、文藝春秋)から引用する。よく使われるのは「莫名其妙」。日常会話の常套句で「その奇妙なること名付けようもない」の意味から、「訳が分からん」「ちんぷんかんぷん」のこと▼「乱七八槽」は「でたらめ七つにしくじり八つ」が原意で、「もうムチャクチャ」という言い方。さらに「無可奈何」は「もうお手上げ」。「豈有此理」は間投詞で「そんなバカなことがあるか!」。「談何容易」は「そら、口で言うのは簡単や」という意味らしい▼さて昨今の中国、強権的で大国化に向けた動きが目に見える。特に新疆ウイグル自治区の人権弾圧には、欧米諸国が強く抗議するが、中国は「内政干渉」「今世紀最大のうそ」と意に介せず。バイデン米大統領は「民主主義と専制主義の闘い」と対決姿勢を鮮明にした▼香港や台湾、尖閣諸島、フィリピン海域など中国由来の国際対立は増えるばかり。自己主張を繰り返す強引さは「莫名其妙」で理解を超えている。通り一遍の説明も「乱七八槽」「談何容易」、口先だけの言い訳に聞こえる。大国なりの品格が必要だ。